

2024年9月1日

2023年度

株式会社ペンマティック 環境活動レポート

【期間 2023年6月～2024年5月】

1. 環境経営方針

株式会社ペンマティックは、『もの創りに感謝』の精神のなかで、地域性及び環境への影響をふまえた上で環境方針を定め、全ての事業活動を通じて以下の実現に取り組んでいきます。

- ① 事業活動による環境への影響を把握し、環境保全活動の目標を設定し、経済的に可能な範囲において全社員で継続的改善に取り組みます。
- ② 環境に関する諸法規及び各種協定を遵守します。
- ③ 資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を認識し、積極的にグリーン購入を進め、省エネルギー・リサイクルに努めます。
- ④ 環境経営活動レポートを公表するなど、社内外に対して環境保護に関する情報の提供を行い、地域社会の一員として地域・社会貢献活動の推進に努めます。

平成16年12月20日制定
令和5年9月1日改定
株式会社 ペンマティック
代表取締役 中村孝明

2. 事業概要

(1) 事業者名

株式会社 ペンマティック
代表取締役 中村 孝明

(2) 所在地

静岡県浜松市東区天王町431-1

(3) 環境管理責任者連絡先

責任者 天野 亨
担当者 天野 亨
連絡先 電話 053-401-7177 FAX 053-422-7171

(4) 事業の規模

資本金 1,000万円
売上高 19億9600千円(2023年度実績)
総従業員数 11人
延べ床面積 438平方メートル

(5) 事業

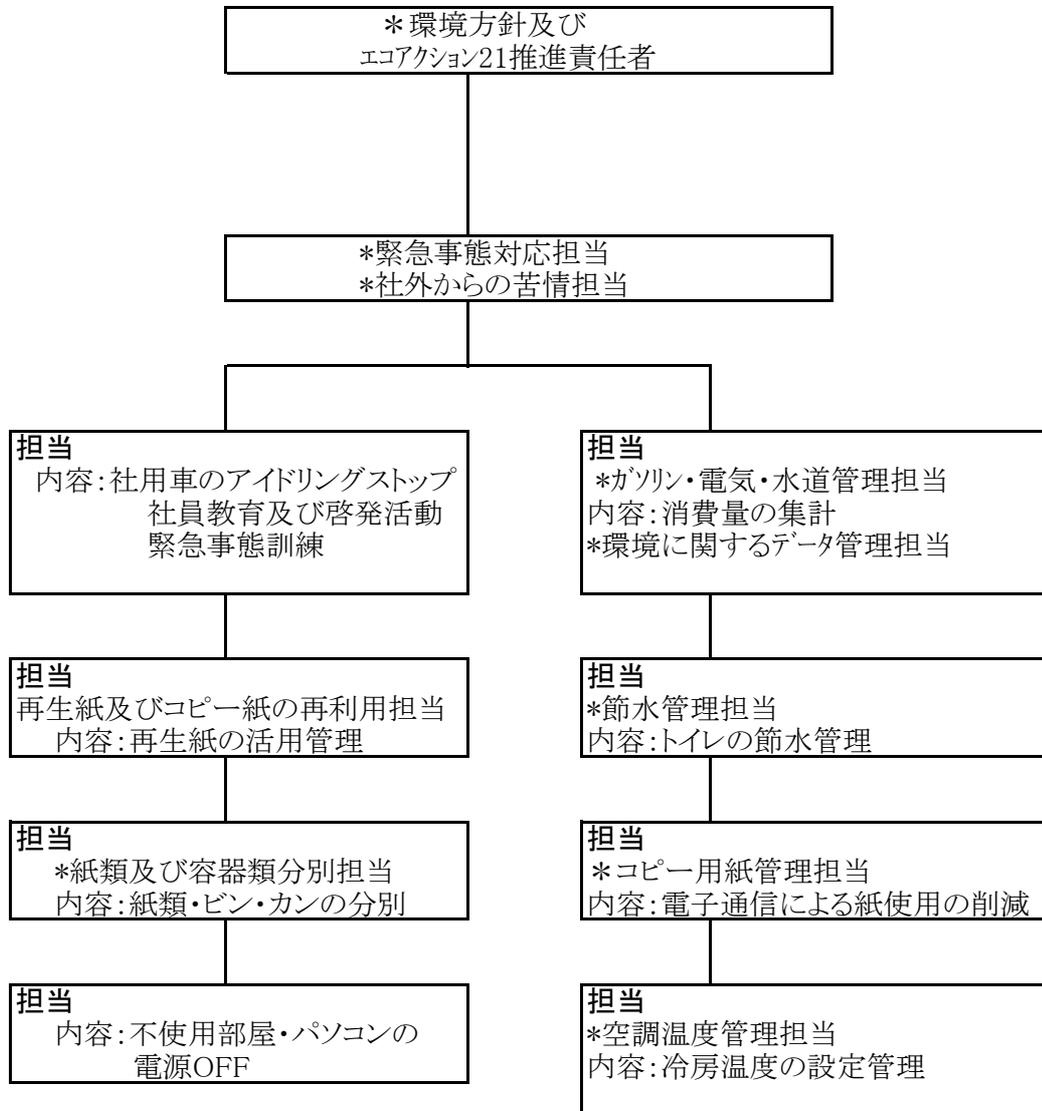
概要…機械工具、工場内自動化機器販売
内容…空油圧機器、産業用ロボット、マウンター、パーツフィーダ、
ナットランナー、切削工具、作業用工具、測定機器、伝導・変減速機
工作機械、ツーリング、物流・搬送機器、各種自動機・専用機の販売

(6) 対象範囲

全従業員を対象とした、全社取組です。

2023年度組織図

作成 E 2024年9月1日



3. 環境経営目標とその実績

(1) 環境に関する実績

当社における今年度を含めた過去5年間の実績は以下の通りである。

		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	38,535	37,261	30,024	39,024	27,235
水使用量	総量(m3/年)	75	70	63	66	61
廃棄物発生量	総量(kg/年)	5,947	5,088	6,946	5,156	4,495

*1年を6月から翌年5月とする。

*購入電力の二酸化炭素算出は、環境省公表の令和4年度中部電力の排出係数0.379kg-CO2/kWhを使用しました。

主な項目別の実績は以下の通りです。

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
電 気 (kWh)	16,065	15,700	14,136	16,844	17,834	15,749
ガソリン (リットル)	12,803	12,905	12,748	13,189	13,502	10,459
軽 油 (リットル)	491	435	370	451	348	823.71
不燃ゴミ (kg)	142	241	177	174	152	157
可燃ゴミ (kg)	567	512	615	621	554	363

*1年を6月から翌年5月とする。

(2) 2022年度 目標と結果

活動における目標と結果		2023年度目標	2023年度実績	評価
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	39,114	34,044	○
客先納入不具合数	件数	33	52	×
水使用量	ゴミ総量/%	82%以下	82%	○
不燃ごみ	総量(kg)	152	157	×
可燃ごみ	総量(kg)	554	363	○

(3) 2023年度以降の目標

2021年度の実績をもとに目標を定め、新たに毎年2%の二酸化炭素の排出量を削減する事を目標とし、あわせて廃棄物の発生量も毎年2%ずつ削減する事を目標とします。

また再生利用の資源ゴミを、毎年2%ずつ増やす事を目標とします。

*購入電力の二酸化炭素算出は、環境省公表の環境省令和4年1月7日公表の中部電力ミライズ排出係数0.379kg-CO2/kWhを使用しました。

2023年度以降の目標値

		2021年	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	39,024	37,480	36,730	36,000
水使用量	総量(m3/年)	66	64	63	62
廃棄物発生量	総量(kg/年)	5,156	4,950	4,850	4,750
客先納入不具合数	年数(件/年)		33	52	50

環境経営活動における課題

作成日 2024/9/1

承認	作成者
中村	天野

A. 環境経営活動計画における実施状況の問題点

① 猛暑によりエアコンの使用回数が増えた

② 社内菜園の導入により水道使用量が増加

③

④

⑤

B. 問題点に対する対応

① サーキュレーターを使用し節電する

② グリーンカーテンもあるので節電効果等が見受けられる

③

④

⑤

4. 2023年環境活動計画の内容

(1) 数値目標を達成する為の取組

A. 二酸化炭素排出量（省エネに関する取組）

- ① アイドリングストップに心がけ、省エネ運転に努める。
- ② 無人の部屋・不使用のパソコン等の電源OFFを徹底する。
- ③ 冷房温度を28度に設定し、基準運転を心がける。
*暖房に関しては、極力使用を控えている。

B. 廃棄物排出量（リサイクルに関する取組）

- ① 両面コピーの徹底に努める。
- ② 紙類（雑誌、新聞紙、ダンボール、OA用紙）及び
容器類（アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、瓶）の分別の徹底。
- ③ 電子通信による発注を活用し、紙の使用量の削減に努める。
- ④ 紙類・容器類のリサイクル率を増やすよう努める。

C. 水使用量（節水へ取組）

- ① 流し台・トイレの節水に心がける。

(2) その他の取組

- ① 再生紙等の積極的活用を努める。
- ② 社員教育及び啓発活動に努める。
- ③ 緊急避難訓練の実施。
- ④ 内部コミュニケーション活動

4-1 2024年度も上記と同じ内容で環境活動に取り組んでまいります。

5. 環境活動の取組結果の評価

環境目標を達成する為に、年間を通じて次のような環境活動に取り組みました。

(1) アイドリングストップに心がけ、省エネ運転に努める。

→一人一人が省エネ運転をするように活動をしている。

※次年度も継続

(2) 無人の部屋・不使用のパソコン等の電源OFFを徹底する。

→使用しないパソコンの電源を切る事や、無人の部屋の電源OFFはできている為、これからも引き続き徹底していきます。

- (3) 冷房温度を28度に設定し、基準運転を心がける。
 - 夏場の冷房温度は、担当が常に確認しているため、基準運転が徹底できている。
 - 酷暑が続いている為、次年度は設定温度の見直しも検討している。
- (4) 両面コピーの徹底に努める。
 - 両面コピーは、社員全員が徹底できている。(継続)
- (5) 紙類及び容器類の分別の徹底。
 - 分別の意識は徹底できているとともに、再生利用資源ゴミの量も増えている。(継続)
- (6) 電子通信による発注を活用し、紙の使用量の削減に努める。
 - 電子通信による発注が増え、ペーパーレス化の浸透により紙の使用量が削減出来てきた。(継続)
- (7) トイレの節水に心がける。
 - 引き続き継続してまいります。
- (8) 再生紙等の積極的活用に努める。
 - 継続。
- (9) 社員教育と啓発活動を年1回行う。
 - 数年前に行った活動を再度教育し直す。
- (10) 緊急事態訓練の実施。
 - 2023年11月30日に、東南海トラフ地震を想定した対処訓練をした。
- (11) 内部コミュニケーション活動
 - 毎週月曜日の朝の朝礼時に、担当毎に確認をしている。(継続)

環境経営活動実績(2023年6月～2024年5月)

作成日 2024/9/1

承認	作成者
中村	天野

○:よくできた。△:大体できた。×:できなかった。

推進項目	推進内容	実施計画															活動結果	備考
		2023年										2024年						
		6月	7月	8月	中間評価	9月	10月	11月	中間評価	12月	1月	2月	中間評価	3月	4月	5月		
1 二酸化炭素削減 (省エネ関連)	①社用車のアイドリングストップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	②不使用部屋・パソコンの電源OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	③冷房温度を28℃設定	△	△	×	△	△	○	△									○	
2 廃棄物排出削減 (リサイクル関連)	①コピー用紙の使用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	②紙類及び容器類の分別	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	③電子通信による紙使用の削減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3 水使用量削減	①トイレ及び水道水の節水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4 その他の推進活動	①再生紙の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	②社員教育及び啓発活動															○	○	
	③緊急事態訓練									○	○						○	
	④内部コミュニケーション活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
																	○	

責任者 天野

6. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

実施した結果は、下記の通りです。

環境関連法規取りまとめ表（遵守評価記録）

遵守評価日 2024年 9月1日

承認	作成者
中村	天野

* 遵守評価の時期は、代表者による見直しの前に実施

法規制等の名称	要求事項	条 項	該当設備、項目	届出、報告先	遵守評価	
					評価者	判 定
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (法律第百三十七号)	産業廃棄物の収集運搬、処分業者と契約 保管基準(流失防止・掲示板表示) マニフェスト管理(B2、Dの照合とEの回収確認、報告)	第六条七項	産業廃棄物 ゴムくず、金属くず、木くず 廃プラ、ガラスくず	浜松市環境部 廃棄物対策課	天野	○
家電リサイクル法 (法律第九十七号)	特定家庭用機器廃棄物の適切な処理	第一条	ブラウン管、液晶テレビ 冷蔵庫		天野	○
自動車リサイクル法 (法律第八十七号)	使用済自動車の適正処理	第一条	営業車		天野	○
下水道法 (法律第七十九号)	適正な排水と排出	第五条七項	水道水の排水		天野	○
グリーン購入法 (法律第百十九号)	環境物品等の調達推進及び情報の提供	第一条	再生紙、通い箱		天野	○
フロン排出抑制法	設備の簡易点検の実施		エアコンの室外機		天野	○
その他						
化学物質の有無要求	SDSの交付 (自社の取扱はありません)		半田、各種溶剤	納入客先	天野	○

当社は、違反・訴訟等は全く無く、関係機関及び近隣地域から苦情や指摘も3年間ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

1 ・ 見 直 し 関 連 情 報	項目	確認
	1.エコアクション21文書	記録・文書として作成しました。
	2.環境経営目標及び達成状況	不具合件数は未達成
	3.環境関連法規要求一覧及び遵守状況	記録に記載しました。
	4.外部コミュニケーション・対応記録	特に問題ございませんでした。
	5.課題とチャンス	

2 ・ 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	<p>・2023年度は猛暑に悩まされエアコンの使用回数も増え、設定温度も大幅に下げられるかと思われましたが、従業員1人1人が考え服装で暑さ調整をした賜物で昨年度とほぼ横ばいで行くことが出来ました。一方客先注文に対する納入不具合が大幅に未達成となっており残念でした。社内コミュニケーションを活用し2024年度の改善の上位優先として取り組んでいきたいと思っております。</p> <p style="text-align: center;">2024年9月1日 株式会社ペンマティック 代表取締役社長 中村孝明</p>		
	見直し項目	変更必要性	「有」の場合の指摘事項
	1.環境経営方針	無	
	2.環境経営目標	無	
	3.環境経営計画	有	大幅に未達成があるので要改善
	4.実施体制	無	
	5.その他（外部への対応）	無	